

関係者各位

## 新刊書籍のご案内

合同会社 **旅と思索社**

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア 1065  
Tel. 03-6869-8455 / Fax. 050-3488-7286  
<http://www.tabitoshisaku.co.jp/>

謹啓 平素より旅と思索社およびウェブマガジン「Tabistory.jp」につきましてご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は昨年5月に千代田区のコワーキングスペース「ちよだプラットフォームスクウェア」において出版社を設立し、現在に至っております。

このたび2015年10月9日に弊社初となります出版物を刊行いたしましたのでご案内申し上げます。

本書は、弊社Webマガジン「Tabistory.jp」にて「街を歩けば・・・お気楽収集旅」を連載していただいております著者・多田欣也氏の、二十年にわたる都内を中心とした飲み歩きの記事がベースになっております。

酒場の雰囲気やメニュー、価格、飲んだ感想などをはがき大の紙に味わいのある手書きのイラストと文字で記し、親しい友人に手作りの冊子として配っておられました。

昨年、著者との偶然のご縁から貴重な記録の存在を知り、思い入れの強い80店の作品に加えて、これまでの人生で学んだ酒のたしなみ方、一人酒の楽しみ方、酒場でのマナーやルールなどをはしご酒形式で新たに書き下ろしていただき、著者の活動の集大成として世に問いたいと思います。

読みすすめていただくうち、昭和の匂いが残る古き良き酒場のにぎやかな、時には静かな雰囲気がよみがえり、実際にお店を訪れてみたくなるような作品となっております。

また、2016年初旬には、続巻となります『二十世紀酒場（二） 東京・思い出はしご酒』の刊行を予定しております。

まことに勝手ながら、ぜひ本書についてご高覧・ご高評賜れば幸いです。  
今後も旅と思索社では、人生の道標となる本づくりを目指してまいります。  
引き続きご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬白

2015年10月吉日

## 書籍概要



【タイトル】『二十世紀酒場（一） 東京・さすらい一人酒』

【著者】多田 欣也（ただ きんや） 絵・文

【判型】B6判変型（たて168mm×よこ128mm）

【ページ数】モノクロ 160 ページ

【定価】本体 1,500 円＋税

【ISBN】978-4-908309-01-4 C0095

【発売日】2015年10月9日

【発行】旅と思索社

### ささやかな一杯の思い出を手書き絵と文章で記した、飲み歩きイラストエッセイ全80店。

昨今の立ち飲み、酒場ブームを受けて、さまざまな酒場紹介本が刊行されています。しかし本書は酒場を紹介するガイドブックとは一線を画しています。

一呑兵衛の著者が、二十年の歳月をかけてめぐった、消えゆく、変わりゆく昭和の古き良き酒場。ほかの客と同様にのれんをくぐり、酒を飲み、会話を交わし、ささやかな一日の喜びを絵と文章で綴った記録です。そこにはガイドブックでは決して表現できない、酒場を通じたわたしたち庶民の生活、文化を垣間見ることができます。著者は本書を執筆するにあたり、こう述べています。

「いい店は不思議とみんないい顔をしている。店構えも、店のオヤジも、そして客も——」

「再開発で街はきれいになる。けれど歴史ある美しさや情緒までもが一瞬のうちに消えていく——」

それを余すところなく残し伝えようとした著者の思いが、本書には込められています。

#### 【本書の構成】

まえがき／一章 母を尋ねて一人酒／二章 はしご酒で酒場論一／三章 東京のラビリンスで迷いたい

四章 もつ煮込みの匂いに誘われて／五章 この道一筋は、偉いことです／六章 はしご酒で酒場論二

七章 カクウチは誇るべき日本文化である／八章 安いんだから、しょうがない

九章 ここはいったい何屋さんだろう？／十章 大衆食堂で昼から堂々と

十一章 はしご酒で酒場論三／十二章 私の選んだ世界遺産／はしご酒で酒場論 四 あとがきにかえて

付録イラスト地図

#### 【著者・多田欣也プロフィール】

ガーデンデザイナー・グリーンコーディネーター・フォークアーティスト。昭和30（1955）年、岩手県遠野市生まれ。高校卒業後、地元の肥料・農薬店に勤務。農業の基本を学ぶとともに独学で木工、商業デザインなどを習得し、ウッドクラフト、デザイン活動を始める。31歳で上京して花と緑の仕事に関わり、42歳で「アースワークス」を設立。個人邸の庭のデザイン、イベントなどの花の装飾をはじめ、全国のガーデンセンターなどでガーデニングの楽しさを広める講習会を行う。テレビ出演、執筆も多数。また、切手、ミニカーなどの王道から、カップラーメンのフタまで多岐にわたる自称コレクションの収集家としても活躍。おもな著書に『はじめての寄せ植え きんや先生の園芸教室』（農山漁村文化協会）がある。

#### 【ご参考紹介文】

今日の日、最後はささやかでもいい、幸せを感じて終わりたい——。

消えゆく大衆酒場で味わう一杯の喜びを忘れまいと、手書き絵と文章で残し続けた一呑兵衛の、二十年にわたるさすらいの集大成。飲み歩きイラストエッセイ全80店。